

金沢二水
図書館報

碧水

第37号
平成22年 3月 3日発行
石川県立金沢二水高等学校
図書館委員会
金沢市緑が丘20-15
URL: <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~nisuih/>
印刷 宮下印刷(株)

読書会を知っていますか？

読書会は、参加者が事前に図書委員の決めた課題図書を読み、当日その本について語りあう行事です。図書委員会では、この読書会を年二回開催しています。ここでは、私の参加した『注文の多い料理店』の分科会について紹介します。

この本の作者は宮沢賢治で、小・中学校の時に読んだことのある人も多いかと思いますが。面白いけれど少し考えさせられるこの本について、参加者全員で話し合いました。例えば、若者二人の性格については、「山の中に料理店がある時点で変なのに、それに気付かない二人は鈍い」「二人はポジティブだ」と、色々な視点からの感想がたくさん出ました。他にも先生の助言から全員で意見を出し合い、驚いたり、考えさせられたりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。参加者からは「読む人によってとらえ方はさまざまだった」「話し合う機会っていいなと思った」「より深い読みをすることができた」などの感想がありました。また、「図書委員の人に連れられて初めて読書会に来たが、面白かった」と、図書委員ではない人も良い印象をもってくれたようです。またこんな感想もありました。「読書会楽しかった！また参加したいな〜って思いました。」読書会は誰でも参加できる会です。とてもフレンドリーで楽しい会なので、皆さんもぜひ次回参加して下さい。

一年 川口 智子

今年度の貸し出しベスト1

今年度最も二水高生に読まれた本は、『妖怪アパートの幽雅な日常』でした。

主人公夕土は、高校進学と同時に彼の夢であった下宿生活をスタートします。しかし、そこは個性豊かな妖怪や幽霊たちが暮らす、「妖怪アパート」だったので。そこで繰り広げられる笑いあり、涙ありの非日常的なおかしな生活は、誰もがこのアパートに住みたい気持ちになります。

今、人気上昇中のこのシリーズ、みなさんも手に取って下さい。

一年 木島 由梨



今年の図書室



なごれ図書の輪

— 図書委員の願い —

近年、図書室の貸し出し数は減少傾向にありまして。平成十七年度には、五五三六冊の貸し出しがありました。今年度は十二月までの集計では、二五九六冊にとどまっています。

読書は、読解力を高め、語彙を増やす良い方法ですし、本は読んだ冊数分、読む力がついてきます。今本を読むことは、これから先のことを考えていく上で、大きな力となってくれます。

また、図書室には小説以外にも、古典作品や授業に関連した本など勉強に活かせる本も多く取り揃えてあります。定期的に新刊やリクエストのあった本を入荷させてもいます。もし、読んでみたい本があれば、ぜひ図書室に来て下さい。もしも、読んでみたい本がなくても、どうぞ気軽に図書室に来てみて下さい。きっといい出会いがありますよ。

一年 今井 美里

「あなたは気付いた?」

— 図書室のディスプレイ —

皆さんは知っていますか。二水高校の図書室は、本ばかりが置いてあり、殺風景だと思っているかもしれません。それは間違いです。出入口や廊下の掲示板、カウンターなど、図書室の内外には、その季節やその月の行事にあった飾りが施されています。例えば、十二月には、イルミネーション付きの幻想的なクリスマスツリーが入口に置かれ、目を引いていました。

また、季節の展示以外にも、去年の秋ごろには、情報の授業を受けている生徒や、図書委員が作ったポップを飾り、今まで読んだことがなかった本などに興味を向ける良いきっかけとなりました。

図書室には、まだみなさんが気付いていないものが至る所に置いてあったり、飾られています。そういうものを探したり、見に来るついでにぜひ図書室を利用して下さい。また、自分が読んでみて面白かった、感動したという本があれば、図書室内の「らくがき板」で他の人に紹介して下さい。

一年 今井 美里